

2021年3月期 第1四半期決算
決算説明資料

2020年7月28日

化学で答を出す。

株式会社 トクヤマ



2021年3月期 第1四半期決算のポイント

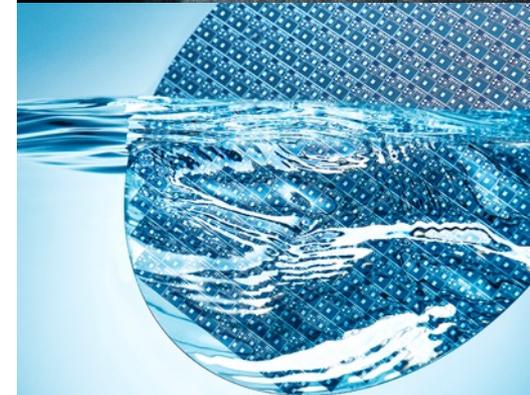
- 1Q（4 - 6月）は対前年同期比で減収減益。コロナ影響で販売数量減・海外市況下落があったものの、原燃料コストの減少等により微減に留まる
- 今後の新型コロナウイルス感染症の状況は不透明であるものの、通期計画達成に向けて引き続き注力

CONTENTS

- ① 2021年3月期 第1四半期決算
- ② 2021年3月期 業績予想
- ③ トピックス
- ④ 補足資料

① 2021年3月期 第1四半期決算

1. 決算概要
2. セグメント別売上高／営業利益
3. 営業利益増減分析（要因別）
4. セグメント別売上高／営業利益増減分析



1. 決算概要

(億円)

	2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	増 減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	764	706	△58	△8	苛性ソーダの海外市況下落 石化製品の販売価格軟調 歯科器材等の輸出数量減少
営業利益	70	66	△3	△5	苛性ソーダの海外市況下落 石化製品の販売価格軟調
経常利益	62	66	+3	+6	営業外損益の改善
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	48	52	+3	+7	経常利益の増加
1株当たり 四半期純利益(円)	69.97	74.94	-		-
為替(円/\$)	110	108	-		-
国産ナフサ価格 (円/kg)	45,300	25,500	-		-

1. 決算概要

(億円)

	2020年 3月末	2020年6月末	増 減	主要な変動要因
総資産	3,834	3,764	△70	売掛金、現金及び預金の減少
自己資本	1,688	1,725	+37	親会社株主に帰属する 四半期純利益の積み上げ
自己資本比率	44.0%	45.8%	+1.8ポイント	-
有利子負債	1,163	1,141	△22	長期借入金の減少
D/Eレシオ	0.69	0.66	△0.03	-
ネットD/Eレシオ*	0.21	0.21	+0.01	-
1株当たり純資産(円)	2,431.21	2,484.60	-	-

*ネットD/Eレシオ: (有利子負債－現預金・現金同等物・金銭信託) / 自己資本

2. セグメント別売上高／営業利益（前年同期比）

（億円）

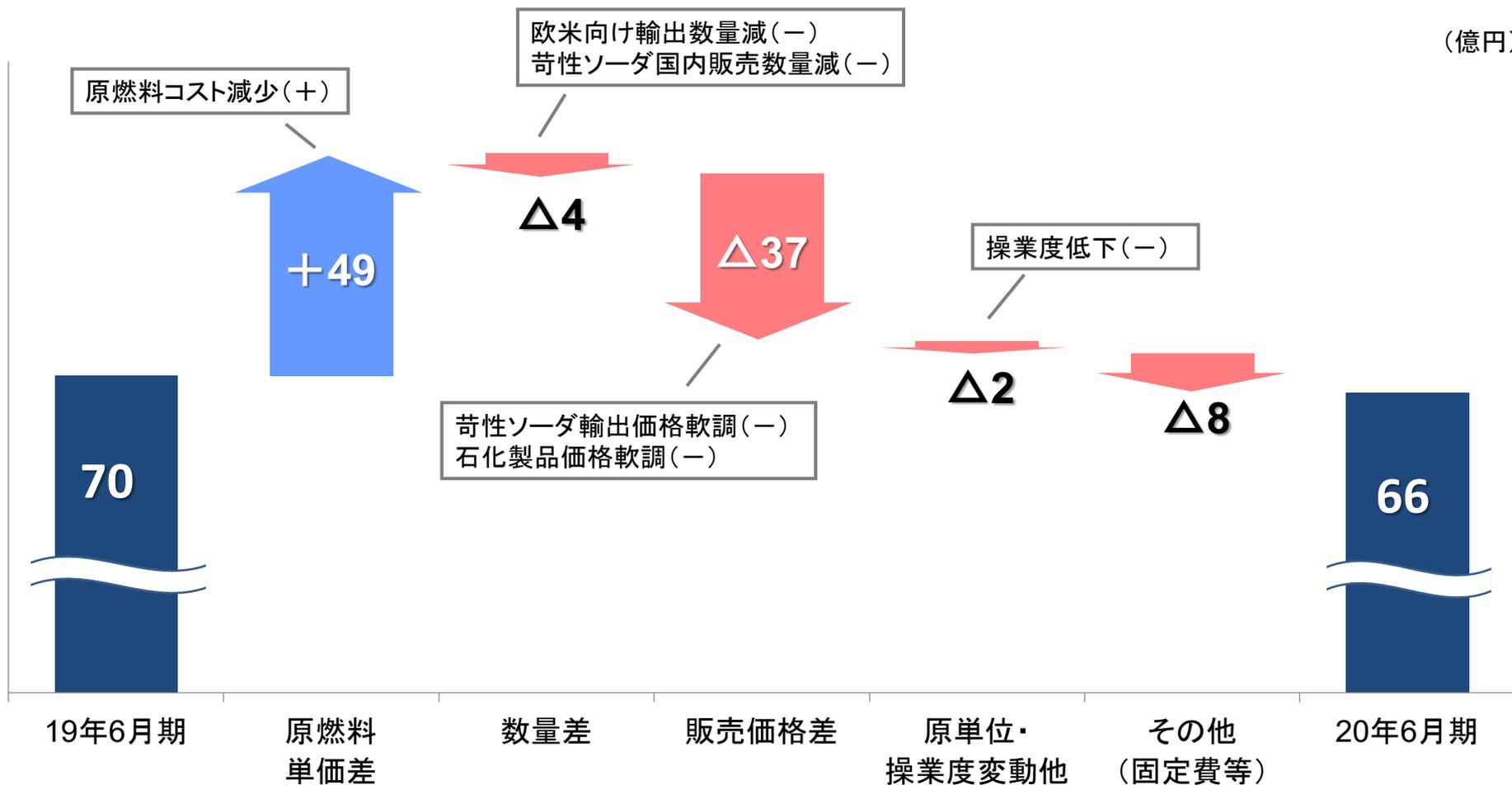
	2020年3月期 第1四半期		2021年3月期 第1四半期		増減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	242	38	198	25	△44	△18	△12	△33
特殊品	121	15	125	13	+4	+4	△2	△17
セメント	214	6	200	14	△14	△7	+7	+117
ライフアメニティー	135	6	128	7	△6	△5	+0	+6
その他	158	9	147	13	△10	△7	+4	+43
計	872	77	800	74	△71	△8	△3	△4
セグメント間 消去・全社費用	△107	△7	△94	△7	+12	-	△0	-
連結決算	764	70	706	66	△58	△8	△3	△5

（注）各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

3. 営業利益増減分析

(前年同期比)

要因別



4.セグメント別売上高／営業利益増減分析

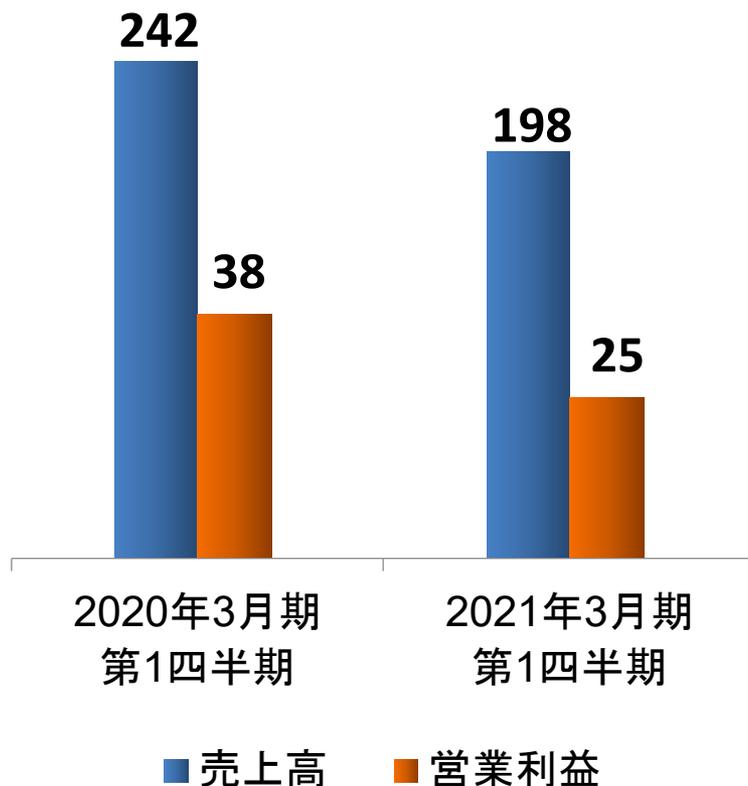
(前年同期比)

化成品

減収減益

定性情報

(億円)



(苛性ソーダ)

- ・コロナ影響で販売数量が減少したこと、及び海外市況が下落したことにより減益

(塩ビモノマー)

- ・国産ナフサの価格下落による製造コストの低減はあったものの、コロナ影響で海外市況が下落したことにより減益

(塩ビ樹脂)

- ・販売数量は軟調に推移したものの、原料価格と販売価格のスプレッドを維持できたことにより、前年同期並みの業績

4. セグメント別売上高／営業利益増減分析

(前年同期比)

特殊品

増収減益

定性情報

(億円)

(半導体向け多結晶シリコン)

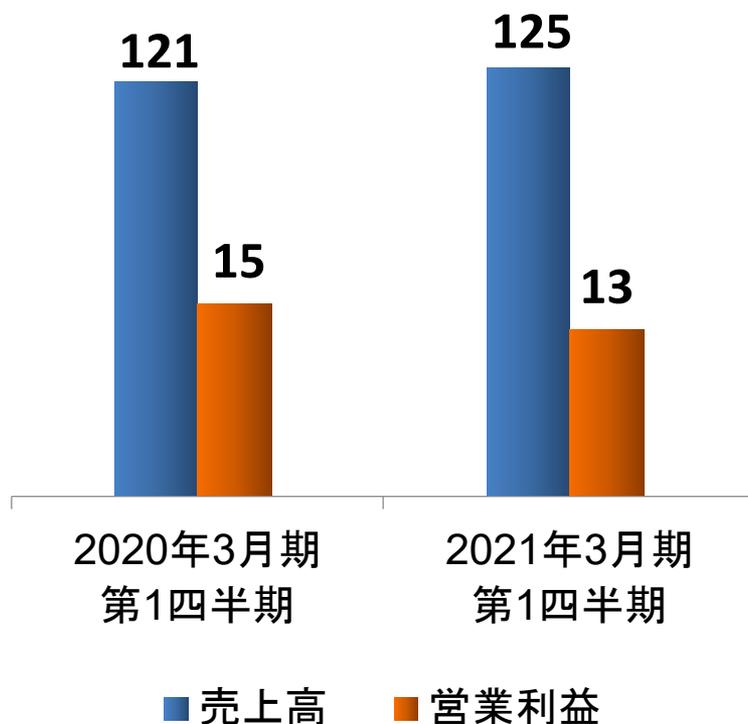
- ・5Gの導入やリモートワークの増加を背景に販売が堅調に推移し、前年同期並みの業績

(電子工業用高純度薬品)

- ・海外向けを中心として販売数量が増加し増益

(乾式シリカ)

- ・中国子会社において、米中貿易摩擦の影響等から販売数量が減少し減益



4.セグメント別売上高／営業利益増減分析

(前年同期比)

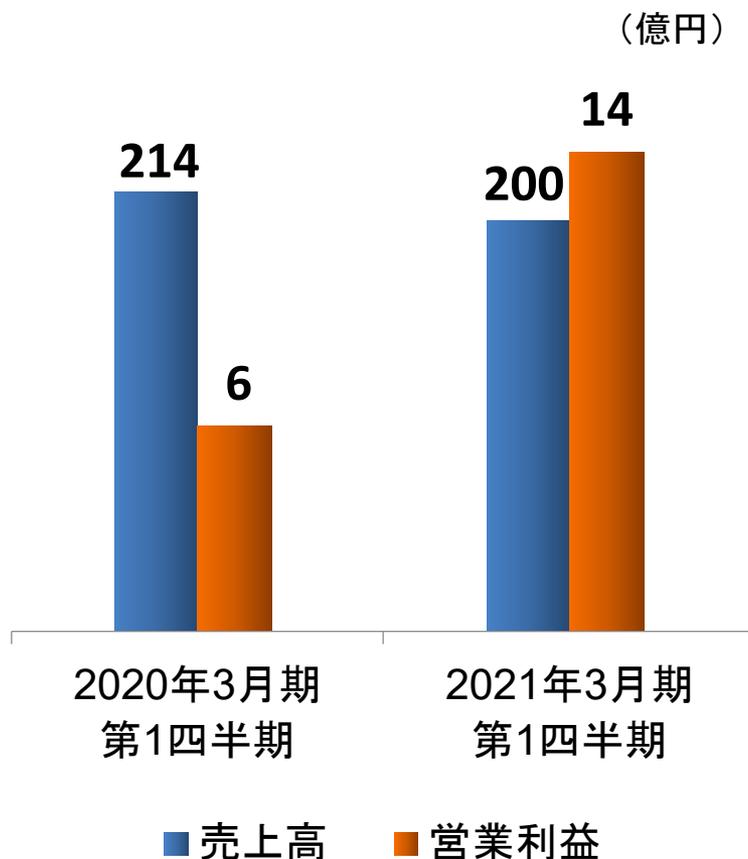
セメント

減収増益

定性情報

(セメント)

・コロナ影響で輸出数量が減少したものの、国内出荷への影響が限定的だったこと、及び原料価格の下落で製造コストが低減したことにより増益



4.セグメント別売上高／営業利益増減分析

(前年同期比)

ライフアメニティー

減収増益

定性情報

(億円)

(医薬品原薬・中間体)

- ・ジェネリック医薬品向けの販売数量が堅調に推移し増益

(プラスチックレンズ関連材料)

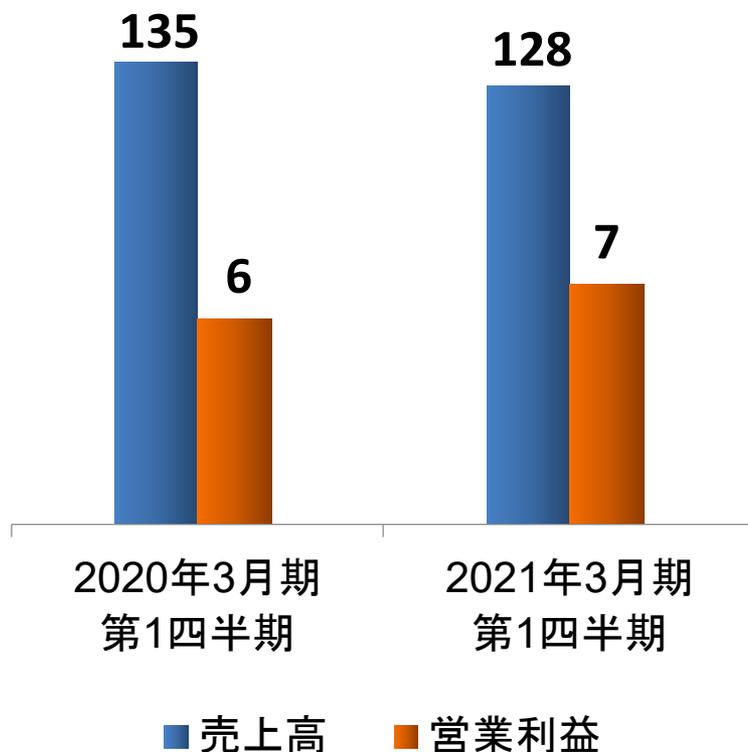
- ・コロナ影響でメガネレンズ用フォトクロミック材料の欧米向け輸出数量が減少し減益

(歯科器材)

- ・コロナ影響で欧米向け輸出数量が減少し減益

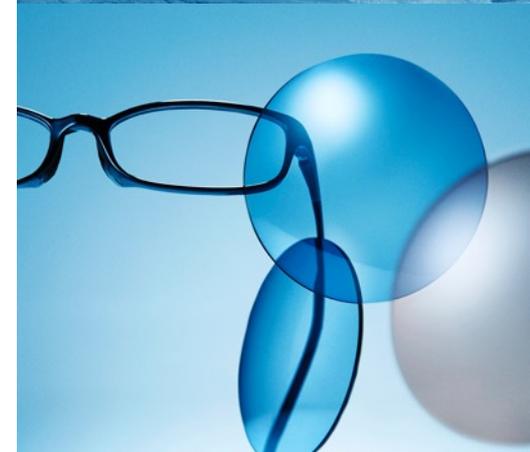
(医療診断システム)

- ・臨床検査情報システム及び検体検査自動化システムを中心に販売が増加し増益



② 2021年3月期 業績予想

1. 新型コロナウイルス感染症の影響について
2. 業績予想
3. セグメント別業績予想



1. 新型コロナウイルス感染症の影響について

- 期初時点の通期見通しの前提は、
1Qにコロナ影響が出たものの、2Qから回復に向かい、下期はコロナ影響なし
- 1Qまでの進捗は、販売数量が若干想定を下回ったが、原燃料コストが下落し、
想定通りの利益水準
- 新型コロナウイルス感染症の収束は見えない状況ではあるが、期初計画に沿った進捗を見込む

2. 業績予想

‘20/5/15公表値を据え置き

(億円)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 予想	増 減		主要な変動要因
			金額	%	
売上高	3,160	3,100	△60	△2	主要製品の販売数量減少
営業利益	342	280	△62	△18	販売数量の減少 固定費の増加
経常利益	328	280	△48	△15	営業利益の減少
親会社株主に帰属する 当期純利益	199	220	+20	+10	特別損益の改善
1株当たり 当期純利益(円)	287.05	316.75	-		-
為替(円/\$)	109	1Q実績:108	-		-
		2~4Q前提:108			
国産ナフサ価格 (円/kl)	42,700	1Q実績:25,500	-		-
		2~4Q前提:31,000			

3. セグメント別業績予想

'20/5/15公表値を据え置き

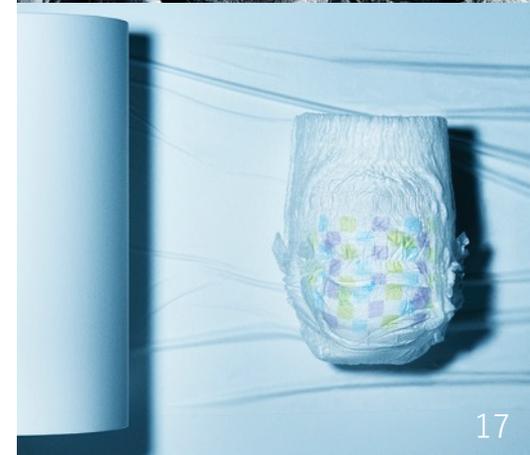
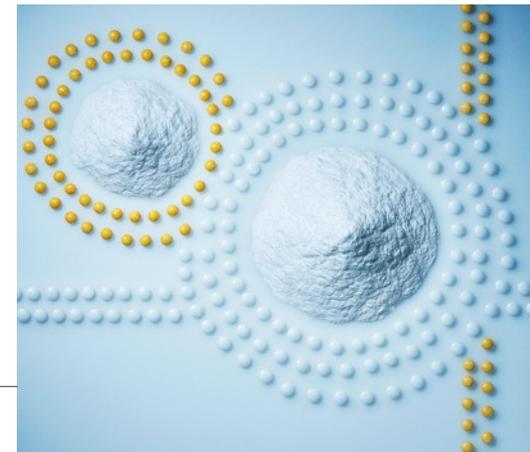
(億円)

	2020年3月期実績		2021年3月期予想		増減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	937	153	870	130	△67	△7	△23	△15
特殊品	544	70	610	75	+65	+12	+4	+6
セメント	872	38	860	35	△12	△2	△3	△9
ライフアメニティー	563	28	580	30	+16	+3	+1	+4
その他	652	69	480	40	△172	△26	△29	△42
計	3,570	360	3,400	310	△170	△5	△50	△14
セグメント間 消去・全社費用	△409	△18	△300	△30	+109	-	△11	-
連結決算	3,160	342	3,100	280	△60	△2	△62	△18

(注)各事業セグメントの売上高・営業利益にはセグメント間取引を含む

③ トピックス

1. 新型コロナウイルス感染症の影響について
2. 先進技術事業化センター開設



1. 新型コロナウイルス感染症の影響について

• セグメント別影響

【化成品】

インドのロックダウンによる塩ビの輸入停止や、自動車生産減により石化製品の販売数量減、その他の製品も建設・製紙・自動車等で幅広く影響

【特殊品】

コロナによるマイナスの影響はほぼ無く、5G導入やリモートワーク増加などにより、これまでのところ昨年度の低迷から回復基調

1. 新型コロナウイルス感染症の影響について

• セグメント別影響

【セメント】

建設工事中断、作業所閉所などあったものの
国内販売数量はほぼ前年並み。

海外はロックダウンの影響により輸出数量減

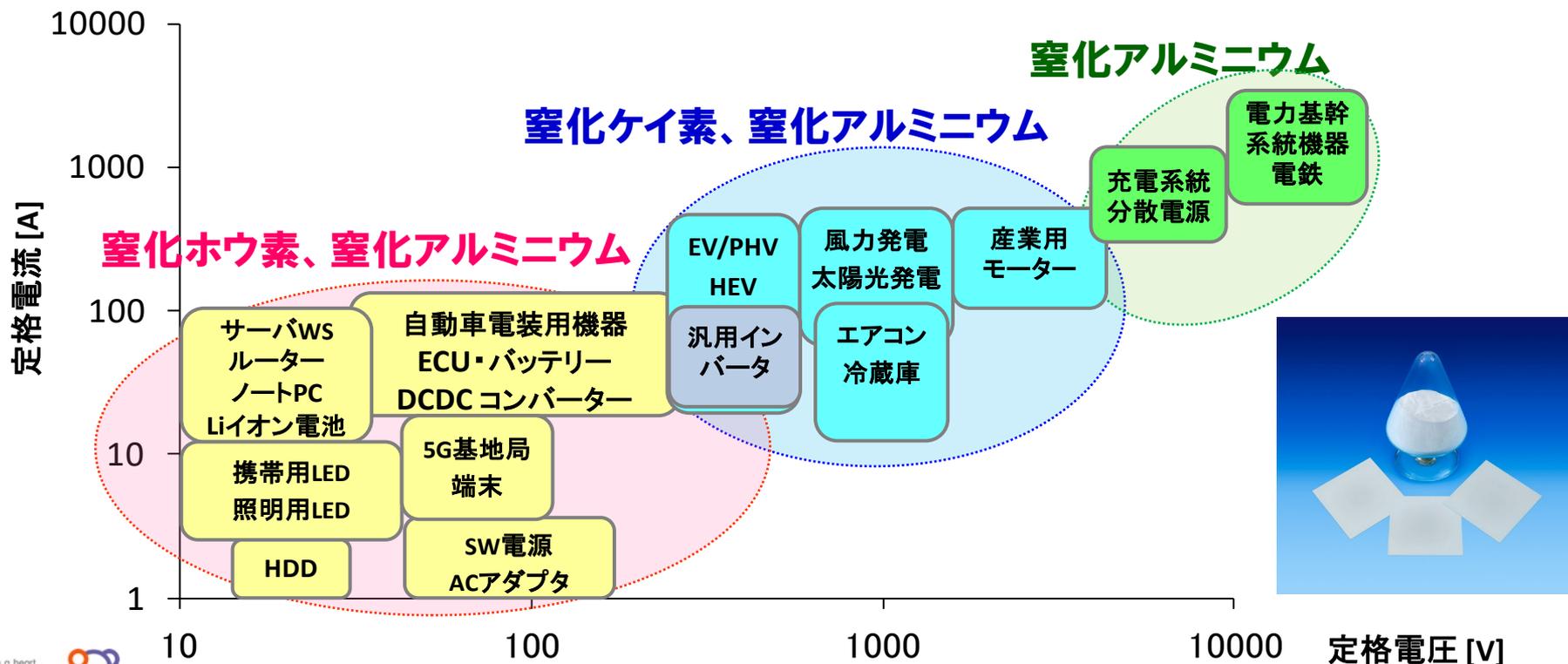
【ライフアメニティー】

欧米のロックダウンにより、メガネ用材料や
歯科器材の輸出数量減

③ トピックス

2. 先進技術事業化センター開設

- 環境やICT分野の先端材料の事業化を目的として、山口県柳井市に開設
- EV搭載をターゲットとしたパワー半導体モジュール向け放熱材料である窒化ケイ素の事業化を開始
 - 2021年度より製造設備の実証運転開始、サンプル出荷を予定



TOKUYAMA



④ 補足資料

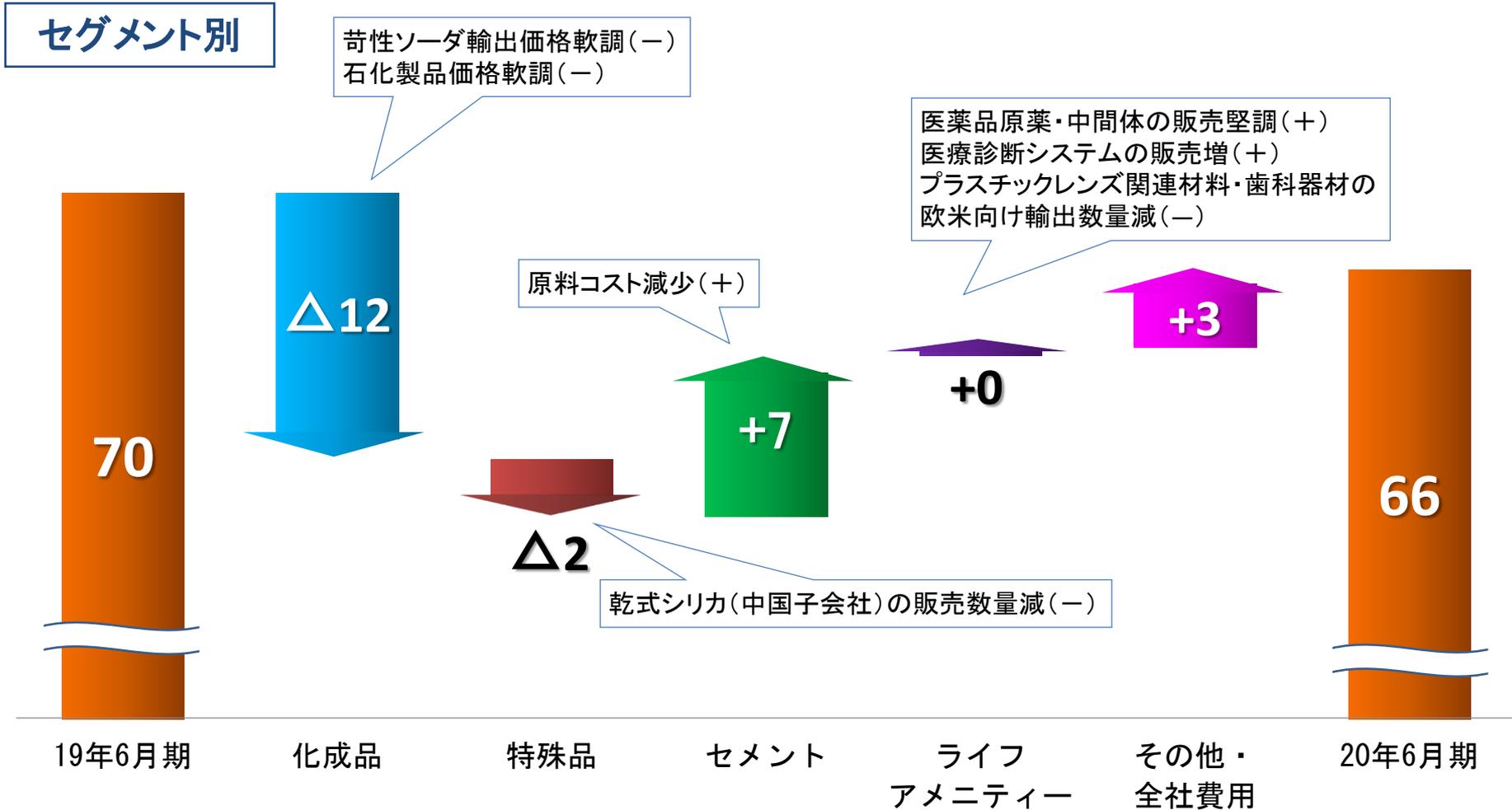
1. 営業利益増減分析（セグメント別）
2. 連結財務諸表（要約）
3. 業績推移



④ 補足資料

1. 営業利益増減分析

(前 年 同 期 比)



④ 補足資料

2. 連結財務諸表（要約）

損益計算書

（億円）

	2020年 3月期 第1四半期	2021年 3月期 第1四半期	増 減	
			金額	%
売上高	764	706	△58	△8
売上原価	533	483	+49	+9
販管費	160	156	+4	+3
営業利益	70	66	△3	△5
営業外損益	△7	0	+7	-
経常利益	62	66	+3	+6
特別損益	△1	△3	△1	-
税前三半期純利益	61	63	+1	+3
法人税等	12	8	+3	+32
非支配株主利益	0	3	△2	△338
親会社株主に帰属する 四半期純利益	48	52	+3	+7

2. 連結財務諸表（要約）

貸借対照表

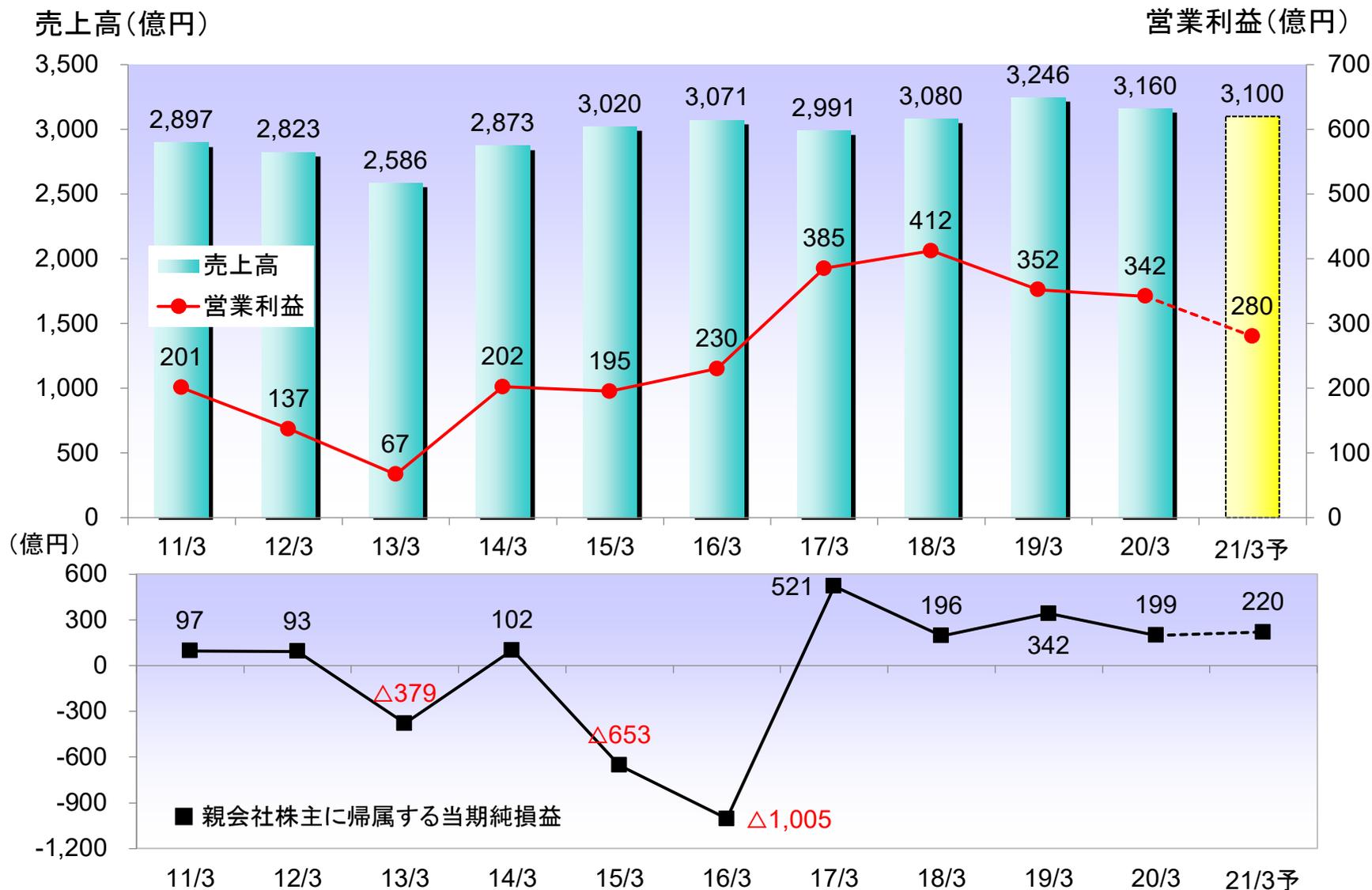
（億円）

	2020年3月末	2020年6月末	増減	
			金額	%
資産合計	3,834	3,764	△70	△2
流動資産	2,038	1,942	△95	△5
有形固定資産	1,231	1,237	+5	+0
無形固定資産	16	16	△0	△2
投資その他の資産	547	567	+20	+4

	2020年3月末	2020年6月末	増減	
			金額	%
負債合計	2,030	1,913	△116	△6
流動負債	952	849	△103	△11
固定負債	1,077	1,064	△13	△1
純資産合計	1,804	1,850	+46	+3

3. 業績推移

通 期

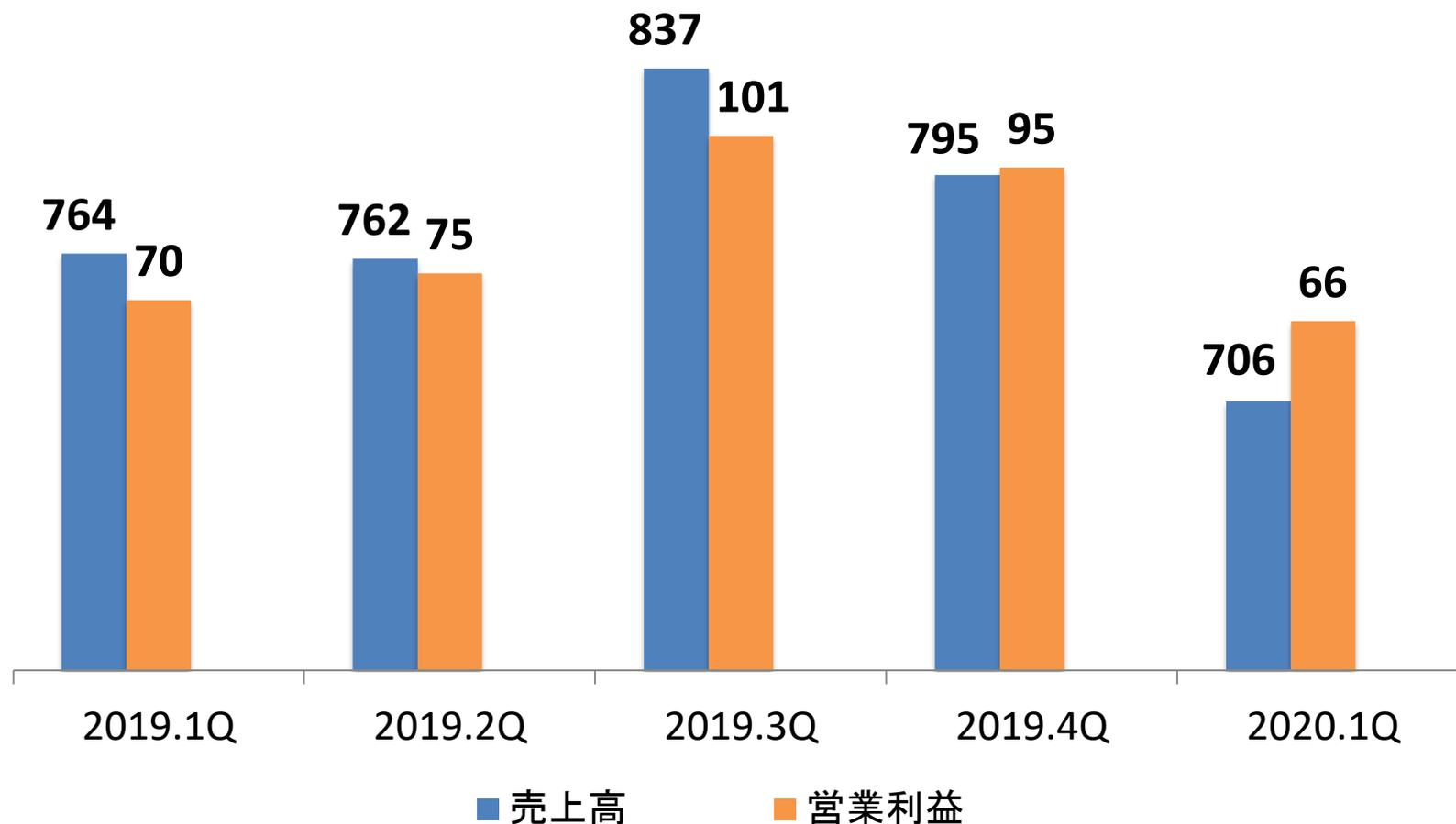


3. 業績推移

連結

四 半 期

(億円)



■ 売上高

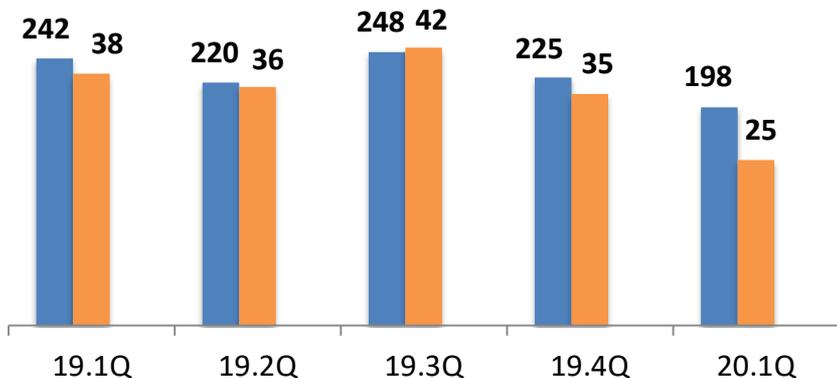
■ 営業利益

3. 業績推移

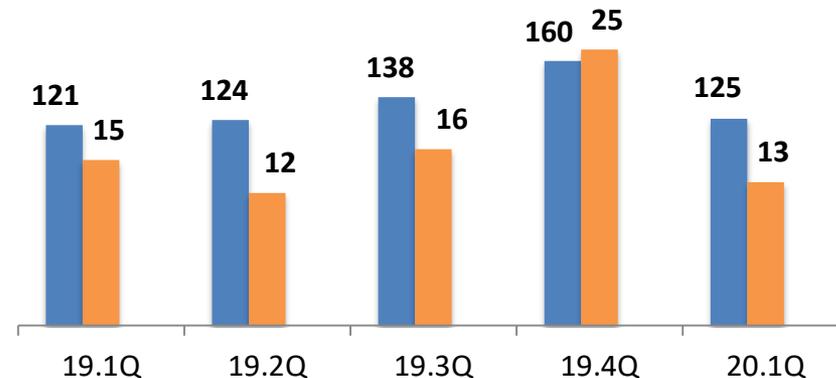
四 半 期

(億円)

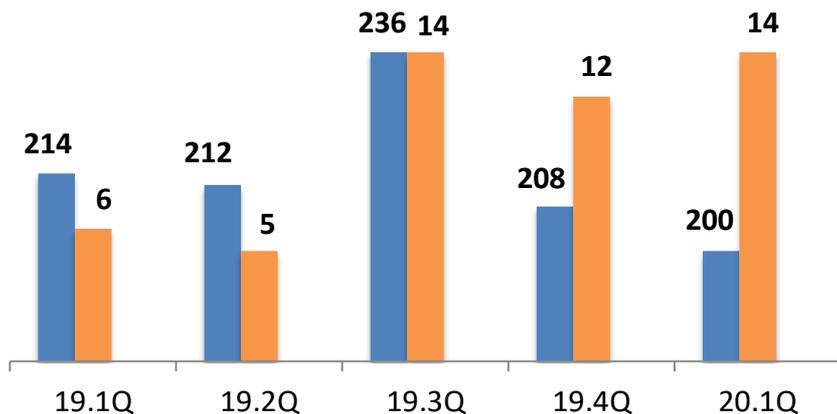
化成品



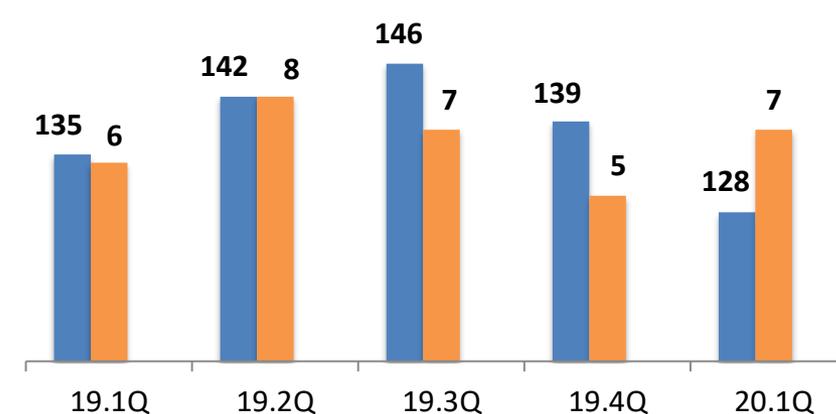
特殊品



セメント



ライフアメニティー



■ 売上高 ■ 営業利益

本資料に関するご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、何らかの勧誘を目的とするものではありません。

本資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。

また、当社の許諾なしに掲載情報を使用（複製、改変、頒布、販売、転載、出版等を含む）することはできません。

TOKUYAMA

